

令和元年第5回高山市議会定例会 一般質問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
12月9日(月)	1. 上嶋希代子 議員	日本共産党高山市議団	1
	2. 牛丸 尋幸 議員	日本共産党高山市議団	2
	3. 谷村 昭次 議員	創政・改革クラブ	3
	4. 岩垣 和彦 議員	創政・改革クラブ	5
	5. 中田 清介 議員	創政・改革クラブ	6
	6. 松山 篤夫 議員	清和クラブ	9
12月10日(火)	1. 車戸 明良 議員	清和クラブ	11
	2. 山腰 恵一 議員	高山市議会公明党	13
	3. 中笈 博之 議員	高山市議会公明党	14
	4. 水門 義昭 議員	斐翔・自民クラブ	15
	5. 谷澤 政司 議員	無 会 派	16
	6. 小井戸真人 議員	無 会 派	17
12月11日(水)	1. 笠原 等 議員	高山市政クラブ	18
	2. 中谷 省悟 議員	高山市政クラブ	19

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【上 嶋 希 代 子 議員】

1. 国民健康保険料について

- ①国民健康保険制度は県で統一化されたが、国民健康保険料について他市との比較を市はどう捉えているか
- ②国民健康保険料の負担軽減として、均等割の子どもの分について軽減できないか

2. 防災計画について

- ①頻繁に起きる全国の災害から見て、一時避難所又は指定避難所に行けない人への対応をどう考えるか
- ②地域における小さなコミュニティ、例えば隣近所の少人数グループ単位での避難計画をつくる指導はできないか
- ③避難所において障がい者や高齢者が安心できるようなトイレの配置ができないか
- ④指定避難所における備品について市民に広報をし、個人が持参すべき持ち物の参考となるようにすべきではないか

3. 荘川町の産廃問題について

- ①再度、事業者から県へ申請されたが、県の対応状況について市は把握しているのか。また、市は今後どう対応されるのか

4. 自衛隊について

- ①市からの名簿提出は中止すべきと考えるが、市の考えは
- ②のりものフェスタへの自衛隊の車両の展示は中止すべきと考えるが、市の考えは

【牛丸尋幸 議員】

1. 消費税増税などへの対応について

- ①プレミアム付き商品券の交付申請の状況は
- ②中小商店のキャッシュレス・ポイント還元制度への登録状況は
- ③中小事業者の年末に向けての資金繰りなど事業者への市の積極的な支援策が必要ではないか
- ④2023年10月からインボイス（適格請求書）の本格実施が予定されているが、零細事業者への影響を市はどのように考えているのか

2. 地球温暖化対策の取り組みについて

- ①「太陽光などの自然エネルギー利用日本一の環境都市を目指します」との市長公約がある。市の新エネルギービジョン及び地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況は
- ②市は2050年に温室効果ガス排出「実質ゼロ」を目指すべきではないのか
- ③全国的規模で使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示す「再エネ100宣言 RE Action」の取り組みが始まった。市はこうした取り組みについて、どのように考えているのか

3. 市民参加条例について

- ①市は市民参加を市民の皆さんの権利として保障する条例と説明しているが、「権利」といえる根拠についての市の考えは
- ②条例になぜ「権利」の文言が明記されていないのか
- ③市は条例の運用状況等について継続的に検証を行い、必要に応じて見直しを行うと説明しているが、これまで検証はどのように行われてきているのか、また、条例見直しについての考えは

4. 新ごみ処理施設について

- ①これまでの市の地元住民への対応は、住民の疑問や意見などに対し誠実な対応を行ってきたと言えるのか。もっと市民に寄り添った誠実な対応が求められているのではないか

【谷 村 昭 次 議員】

1. 施策・事業の外部化について

- ①平成30年度決算において補助金執行は約33億円で232種類にも及ぶ。運営補助と事業補助があり財政の外部化でもある。特に、行政活動の代行的・補完的機能から配分されている医師確保支援での1億円や観光客誘客推進での1億円など社会情勢の変化等からも効果の検証あるいは需要抑制の検討は考えないのか。新しい施策への初動支援について税収状況からの展望や行政経営からの外部化への将来像をどのように考えているのか
- ②補助団体などの決算書から繰越金額の規模と推移をどのように把握しているか。使い切り決算では事業主体の自主性が浮き彫りとなることが問われていると考えていないのか。市としてのチェック機能をどのように構築してきたのか
- ③事業実施を目前にしている観光特化型バスの予定運行において公共サービスが増大することになるが、民業圧迫となる料金設定のあり方や既に運行している路線で範囲が重なるルートなど外部化事業の方針について再検討はされないのか

2. ブランド戦略について

- ①ブランド戦略の所掌事務に移住促進に関することとあるが、飛騨高山にひとを呼び込む取り組みは本来ブランド戦略として考えるべきものなのか。人に関わる基軸は関係人口ともいわれる状況を鑑みてもどうなのか。ブランド戦略では都市部との所得格差を埋める「稼ぎ」を創出する展開についてどのように考えているのか
- ②ブランド戦略では風土と暮らしが生み出す本物とあるが、土産品の多くが地域内産品ではない現状をどのように捉えてきたのか。広く流通させる前に地場で産み出すことへの産業振興の必要性をどのように捉えてきたのか

3. 水道水源保全と水供給について

- ①水道水源保全条例では、安全で良質な水及び水量を確保するため取水範囲を保全するとある。しかし、水道事業の取水、導水、配水は一連である。特に、簡易水道事業では長い導水路区間が存在し維持保全は課題であると考えるが、この条例からすると導水施設の帰属・管理が市であることに関わらず、「水源に準ずる保全を図る」とする範囲拡大への見直しなど制度上での対処が必要と考えるが
- ②市民生活への影響度を考えると、水道事業によらない水道水源や民間地での地下水源などの場所については、その把握と表示により生活や事業の持続性を確保するためにも最低限での地図化が必要と考えるが
- ③水源地指定では地表水と地下水を水源とする場合により区域の基準が異なる。特に、給水人口500人以下で地下水源よりも外的あるいは周辺大気により蓄積される環境影響がある地表水源の施設地域については地下水源を越える指定範囲の基準で保全し、取水点から一定距離を半径として保全区域を確保すべきと考えるが、見直しの考えは
- ④初期消火で最も確実性と安定度のある消火栓による消火水量加算について、小規模水道である荘川町六厩の新配水施設では配水量不足はないのか。また、冬期間対応による配水量不足はないのか。取水量と原水処理方式の選定を含めた配水量の関係において実態の機能はどうなのか。最新設備の選択は最小維持機能を果たしているのか
- ⑤水道事業の課題と対策内容やトラブルなどについて市民との情報共有が十分とはいえない。情報開示など公営企業の見える化を推進する考えは

【岩 垣 和 彦 議員】

1. 地域の産業・経済の持続と行政の役割と責任について

- ①今年度で産業振興計画が終了するが、過去5年間の検証を行う中で課題と評価をどう捉えているか。また、次期計画でも目標指標を掲げると思うが、目標達成により市民が幅広く経済効果を実感できるために何が必要か
- ②産業振興条例は市内の産業構造が変化する中で早急に見直しの必要があるが、見直しにあたって何をコンセプトと掲げ、これまでの様々な課題に対し市内の産業経済をどう導き、どのように実効性あるものとするのか
- ③地域経済懇談会において経済戦略として市内経済の活性化に向けた具体策について何が検討されているのか。また、その具体策を実現するため行政が主体となり取り組むことが重要であるが、財政支援と合わせて人員体制を整える考えはあるか
- ④市民や事業者の努力によって経済循環しているが、産業・経済の活性を促すための行政の責任とリーダーシップをどう考えるか

2. 都市計画とまちづくりについて

- ①卸商業センターは開設後45年程度が経過し、卸業が減少するなど産業構造が変化する中で用途地区の将来像をどう描き、今後の改修などへの課題に対し市はどう関わっていけるのか
- ②駅西交流施設は建設の検討を進めるとの答弁がされているが進捗はどうなっているか。また、課題になっているものは何か
- ③宮川人道橋が建設中であるが、本町側と宮川朝市側の動線効果を生むためにはイータウンを含め抜本的な対策が必要である。まちの再生に繋げるための具体策は整っているのか
- ④シビックコア計画により国や県の跡地が増えるが、市として駅西地区や中心部、市役所周辺の土地利用や都市整備についてどのように考えているのか

【中 田 清 介 議員】

1. 世界的な異常気象に見舞われる中、今夏の各地での台風被害を教訓にした災害対策について

- ①高山地域の人口集中地区には河川氾濫による水没の危険性はないのか。住民参加で充実してきたハザードマップであるが、上流域、中流域、下流域それぞれの治水対策は万全なのか
- ②今夏の台風19号被害から見ても想定外の降雨量は今後も起こりうる。ハザードマップに示された浸水想定区域で十分なのか。最近の異常気象による各地の被害を見て市民の不安は増している。より広域の避難計画やその周知体制などの準備は整っているのか
- ③台風15号被害の教訓の一つが、都市インフラとしての電力の喪失と長期の停電への対応であった。被災自治体は長期停電という事態を事前に想定していなかったことが被害を大きくした原因とも言われている。電力事業者との間での協力体制は国・県との連携の中でとれているのか。また、必要な施設の非常電力の備えと確保は心配がないのか
- ④長期停電は被害であるとともに新しい災害を生むと指摘されている。一つには二次災害、三次災害への拡大、もう一つは複合災害ということで病院災害、運輸災害、食料災害、水道災害、情報通信災害などであると言われている。各セクションの防災協定の締結が続いているが、複合災害への備えとして十分な体制が組めているのか
- ⑤広域の高山市における地域別の気象予報体制は、支所地域の地域防災に必要と言われる。早期の導入は困難なのか。また、聞こえにくい防災行政無線の解消策については対応しているが、非常時にはもっと伝わりやすいサイレンなどによる伝達も有効ではないかと言われている。そうした対応も考えているのか
- ⑥防災対策としての公共インフラの整備には、ハード面の整備はもとよりソフト面での対応である防災や減災のシステム構築と持続可能なマネジメント計画を多面的に整備しておくことと指摘されている。こうした面の対応は進んでいるのか

2. 中心市街地活性化基本計画の改定について

- ①インバウンドの活況とホテルの進出ラッシュが続く中で、中活の基本的課題であったゾーニングによる大型店の立地の誘導と中心市街地の商業振興という中身が変化してきている。文化政策、商業政策と都市計画との連動が観光まちづくりと言われる中で、商業政策を推進するソフト部門の停滞が目立つのではないか。新たな中心市街地の商業振興施策はどのような観点で組み立てるのか
- ②商業を取り巻く環境は大きく変わった。かつて卸・小売り合わせて3,000億円と言われた売り上げは約2,000億円程度にまで減少した。卸の規模は半減し、小売りに占める外資・大型店の比重が増し、零細小売商店の生き残りは風前の灯火である。廃業・閉店が続出する中で、ここ5年で市内の商店街の様相も変わってしまった。経済行為に規制はかけられないが、望ましい高山市の商業の姿は産業振興条例や中心市街地活性化基本計画の中で示していけるのか
- ③かつて衰退傾向の中心市街地へ公共施設を再配置し、再び活性化することを目的としたコンパクトシティの定義も、合併で広域化した市域の総合調整への施策の展開に使われるなど本来の意味を失いつつある。高山市を国際観光都市として今後どのようなまちにしたいのかの指針が求められている。基本計画において世代交代の流れをつくり、思い切った若返りの視点で既存政策を見直す必要があるのではないか
- ④制度融資重視の産業政策からの脱皮、産業連関表によるエビデンスに基づくソフト部門の充実、観光政策との連動による中心商店街へのテコ入れ、そのためのインセンティブの付与、やれることは積極的に推進すべきではないか。観光による波及効果が住民の暮らし良さに繋がってこそ、世界から人を呼び込めるまちづくりができるのではないか

3. 観光マスタープランの必要性について

- ①高山市の観光は好調と言える。それ故、将来へ向けてのマーケティングとマネジメントの重要性も指摘されるところである。官民で観光振興に対する目標を共有するとともに、それを着実に実行する民間の活動と、その活動を支える行政の役割分担を明示し、持続可能な国際観光都市形成への指針となるビジョンの策定が求められているのではないか
- ②長い間、市には観光に特化した計画や条例等はなかった。これだけインバウンドが高まり市の基軸とする産業構造が変化して就業人口構造までもが変わり、観光が市民生活との共存を求められていく中では、観光の将来像を示すビジョンの策定は不可欠ではないか
- ③鎌倉市観光協会が策定した観光マスタープランでは、観光を通じて地域課題を解決するDMOと、新たな地域ビジネス創出基盤となるDMCを機能分担で両立させ、その上で行政の支援を受け観光施策を機能させていくことが鎌倉流の観光クオリティ実現への道とある。それぞれの活動目標と役割分担の明確化でもある。いま、民泊や簡易宿泊所の問題や、入湯税の使途、更には宿泊税の論議などで、観光コンベンション協会のリーダーシップと観光課の役割が問われている。そうした観点に立って、特に情報収集とその分析など観光コンベンション協会の機能を強化していく道もあるのではないか

【松 山 篤 夫 議 員】

1. 林業政策について

- ①民有林を伐採後に再造林するかどうかは義務ではないために所有者の意向に左右される。国においては造林未済地が増加しているが、市の状況は
- ②林野庁は生産・流通コストが減れば所有者の利益が増え、再造林にもつながると効率化を期待するが、林業家からは量を出せば出すほど安くなるといった懸念も漏れる。市の再造林に対する抜本的な対応策は
- ③岩手県で職人の手作業が常識であった漆かきを機械によって量産する「漆の植樹プロジェクト」が全国初の試みとして実施されている。地元産の漆を確保するために市も取り組んではどうか
- ④森林の多面的な機能が年々その重要性を増している。森林浴の場を提供して地域おこしをする考えは
- ⑤林業関係者は仕事柄、土砂災害や地滑りが発生しやすい場所を把握している。彼らの知見はハザードマップに十分に反映されているのか

2. 教育政策について

- ①石巻市立大川小学校の児童らの遺族が市と県に損害賠償を求めた訴訟の判決が確定した。判決は様々な危険に対応できる実効性の高い体制の整備を求めたものとなった。この判決に対する教育長の見解と市における児童生徒の防災対策整備の取り組み状況は
- ②岐阜市の教育長は市議会の一般質問において「学校は命をかけてまで行くところではありません」とメッセージをおくったが、このメッセージに対する教育長の見解は
- ③学校は何のために存在するのか。教育長が考える学校の最上位目標は
- ④自己肯定感とは何か。教育界では近年、自己肯定感の向上が課題として指摘されているが、やや硬くて難解に感じる。教育長の自己肯定感の定義は

- ⑤コミュニティ・スクールが来春よりスタートするが、学校現場が足踏みをしている点はないか。また、教育委員会から学校現場に対してどう指示を出しているのか。
現在の取り組み状況は
- ⑥災害時に家族との連絡手段になるなどSNSの利便性は高いが、その反面見知らぬ人との接点になりやすいリスクも抱える。SNSに潜む危険から児童生徒を守るための防護策は
- ⑦首里城の火災を受けて文化庁は国宝や重要文化財だけでなく、史跡内に復元された建物などについても防火設備の点検や確認を行うように自治体などに通達を出したが、市の文化財の点検状況と今後の維持管理に対する考えは

【車 戸 明 良 議員】

1. 支所の役割について

- ①人口減少・少子高齢化社会に向かう行政経営の中で支所機能の目指すところ・役割をどう位置付けているのか
- ②市政を取り巻く環境の変化等に伴う行政課題への対応や効果的・効率的な行政運営を推進していくために総括支所長を配置し、地域振興と地域のまちづくりを目指しているが、どう議論をして取り組んでいるのか。今後の方向性は
- ③第八次総合計画や都市基本計画の見直しの中で、地域別のまちづくりや構想を描いている。それには、支所は本庁の下請け機関ではなく将来的視野をもって地域経営の責任を果たさなければならない。政策・施策の充実のためにも本庁と支所の改革にさらに取り組むべきではないか

2. 移住定住の促進について

- ①高山市の人口はどのように推移しているのか。減少傾向にある中で出生数・死亡数からなる自然減の推移は。また、転入者数・転出者数からなる社会減の推移はどのような傾向にあるのか
- ②人口減少時代において将来の年齢構成が重要である。自然減の改善のためには出生数の増加が必要であり、妊娠期から社会人となるまでの途切れのない支援が重要である。社会減の改善のためには転出者を少なくして転入者の増加が必要となる。移住定住の取り組みが重要な政策課題と言える。市の移住促進施策の目指す姿は。移住定住の実績と分析は（県外、県内、年齢構成、地域別）
- ③転入者数の増加につながる要素の一つにやりたい仕事があることは特に重要である。そのための既存企業の育成や企業誘致も考えられるが、転入者が自ら事業を立ち上げる起業家が増加することは、新たな価値観や仕事の創造にもつながる。市は起業セミナーなどの施策に取り組んでいるが起業家の増加などの現状は。今後の展望を含め市はどう取り組むのか

- ④ 35歳未満の若者の就業・移住定住の促進施策として、Uターン就職支援金、若者定住促進事業、奨学返済支援事業などを展開しているが、人数、年齢別、どこからの移住かなど実績を分析し、支援が移住する誘因になっているのか追跡調査などが必要では
- ⑤ 移住定住に関する住宅の取得・改修に対する助成制度などふるさと暮らし移住促進事業の実績は。飛騨地域以外からの移住促進の効果と課題は。東京23区からの移住助成事業の実績は
- ⑥ 農業による移住の実績と今後の見通しは。農村地域への移住の推進には、就農者の促進をベースに受け入れ体制の構築が重要である。そのうえで小面積の農地付きの移住プランや自然と趣味を兼ね合わせたプランなどが想定できるが、農地法との関連、地域コミュニティなど取り組まなければならない方向性は
- ⑦ 移住定住の促進は、そこに暮らす地域に魅力があり住みやすさが実感できるものでなければ定住につながらない。多様な転入者の視点から現状を捉え推進すべきではないか。また、地域から「こんなまちに住んでみませんか。ウェルカム高山市〇〇まち」というような盛り上がりが出てくる仕組みなど、多様なニーズを移住へ結び付けるための取り組みや、高山市と関わりを持つことを望んでいる関係人口の増加や子育て世代をターゲットとした施策の充実などが考えられる。移住者獲得のための取り組みと方向性は
- ⑧ 人口減社会の中、どこの都市も移住定住の促進に取り組んでいる。今までの取り組みを検証して移住検討者はなにを求めているのか、高山のどのような魅力に魅かれ高山に住むのかなどを分析し、移住定住人口が増加するような戦略「たかやま移住定住促進戦略」を策定すべきではないか

【山 腰 恵 一 議員】

1. 災害に強いまちづくりについて

- ①地区防災計画策定の進捗状況と今後の展開は
- ②市民への災害時のマイタイムラインの普及推進の考えは
- ③指定避難所等への避難所開設運営キット配置の考えは
- ④停電時のEV・PHVなどの電気自動車活用の考えは
- ⑤福祉避難所の運営マニュアル策定の考えは
- ⑥災害時に国からプッシュ型の緊急支援物資が市へ搬入された場合、受入体制がなければ混乱が生じることから受援計画が必要とされる。市の状況は

2. 糖尿病の重症化予防について

- ①糖尿病患者の状況（人数・医療費）は。また、傾向をどう分析しているか
- ②直近5年間の糖尿病治療中断者及び最近1年間の受診歴がない人数は
- ③レセプトを活用した受診勧奨への取り組みは
- ④来年度から保険者努力支援制度のインセンティブが拡充され、特定健診率・糖尿病重症化予防の取り組みが重視される。市はどう取り組むのか

3. 食品ロス削減の推進について

- ①食品ロス削減推進法の成立を踏まえ、市はどう推進をしてきたのか。また、市民の意識をどう捉えているのか
- ②事業者への取り組みをどう推進してきたのか。今後どう取り組むのか
- ③全国ではフードバンクやフードドライブの取り組みが盛んに行われている。市の見解は

【中 箴 博 之 議員】

1. 図書館を核としたまちづくりについて

- ①図書館利用者の現状をどう分析・評価しているか
- ②幅広い利用促進に向けた「居場所づくり」という視点が必要では
- ③コミュニティの拠点として地域との関わりを意識する必要があるのでは
- ④超情報化社会における図書館像は描けているか
- ⑤まちづくりの拠点として今後の施設整備にビジョンはあるか

2. 市営住宅のあり方について

- ①近年の入居の状況は
- ②今後の人口減少や高齢化を見据え、必要戸数をどう考えるか
- ③入居者の高齢化が進む中で、住み替えを含む市の対応方針は
- ④家賃の設定における立地・利便性などの係数は適正か
- ⑤入居時に求められる連帯保証人要件の運用状況は
- ⑤連帯保証人を不要とする条例改正の考えは

3. 市民に寄り添う行政サービスの提供について

- ①各種申請に対する決裁ルールの点検が必要では
- ②市民向けの文書におけるお役所言葉の見直しに取り組む必要があるのでは

【水 門 義 昭 議員】

1. 自治体戦略2040構想における高山市の施策について

- ①自治体行政の課題として職員の減少がある。人口減少下での職員募集への応募状況と採用状況は。また、採用後の退職者の状況はどうなっており、退職の原因を分析しているのか
- ②職員採用の年齢構成と職員数をどのように考えていくのか
- ③地域経済の課題として地元企業の減少がある。2040年には業種別に事業所数、販売額及び生産額をどのように分析しているか
- ④域内での循環を考えると、地元事業者の事業承継を市としても取り組むことはできないか
- ⑤医療・介護分野では患者や利用者の想定をどのように分析しており、施設や従事者の確保に対する支援はあるのか
- ⑥消防職員の人材確保と、消防団員の組織や団員確保策をどのように考えるのか。操法大会などの改革の状況は

2. 飛騨高山文化環境大学構想に対する支援について

- ①民設民営の飛騨高山文化環境大学について市はどの程度情報を把握しているのか
- ②大学設立に向けて地元の自治体として準備委員への参加依頼があるようだが状況は
- ③大学設立に向けて市として支援すべきと思うが考えは

3. 学校施設修繕及び学校消耗品等に対する考え方について

- ①修繕をしなければならない施設の把握はできているのか
- ②避難所となっている屋内運動場の改修計画はあるのか。また、学校に改修計画を周知しているのか
- ③学校消耗品・燃料・電気の使用について抑制されていて厳しいという意見を聞くが、支出基準など明確になっているのか

【谷 澤 政 司 議員】

1. クマ対策について

- ①今年市内においてクマ出没による人的被害が多く発生したが、その状況と対策は
- ②クマを人家に近づけさせないため里山の早急な整備が必要と考えるが、市の取り組みは

2. 台風の災害対策について

- ①9月の台風19号により長野県や千葉県などでは流木が橋や堤防に滞留し、住宅への浸水被害につながるなど大きな被害になった。他市の被災状況を踏まえ、市では対策をとっているのか

3. 美術館設置について

- ①美術館を設置することは市民や小中学校児童生徒の美術文化レベルも高まり、国際観光都市としての魅力向上にもつながる。美術館設置に取り組む考えはないか

【小 井 戸 真 人 議 員】

1. 合併算定替終了後の地方交付税と財政計画について

- ①令和元年度の普通交付税の算定額が昨年度より増額となっているが、その要因は
- ②今年度で合併算定替が終了する中で、令和2年度の地方交付税をどのように見込んで予算編成を行うのか
- ③地方交付税の減額によって経常収支比率が上昇しているが、今後の財政運営における留意点は
- ④今後、高山市公共施設等総合管理計画に基づき施設整備が進められるが、施設整備に対する財政面からの考えは

2. 幼児教育・保育の無償化とこれからの子育て支援について

- ①10月から実施された幼児教育・保育の無償化による幼稚園及び保育園の状況は
- ②来年4月の保育園の入園希望の状況は
- ③近年における途中入園の状況と保育園における対応は
- ④これまで実施されてきた保育士の処遇改善の経過と成果及び評価は。また、今後の取り組みは
- ⑤保育士不足の状況と対応策は
- ⑥集団生活になじめない子や落ち着きがない子など支援が必要な子の状況と対応は
- ⑦これまで高山市が独自で保育料の軽減に充当していた財源により保育園関係職員の処遇改善や支援の必要な子への対応など、更なる子育て支援策の充実につなげられないか

【笠原 等 議員】

1. 新たなスポーツ施設の整備について

- ①高山市公共施設等総合管理計画の実施計画（案）では、サッカー場と野球場の新規建設が短期実施に位置づけられているが、今後どのようなロードマップを描いているのか
- ②新たなスポーツ施設の整備においては、練習や大会開催のための利用環境の充実という視点も重要ではあるが、スポーツコンベンションによる地域振興の拠点施設としての活用の視点が重要と考える。新たなスポーツ施設の整備における基本的な考え方や描いているビジョンは

2. 誰もが安心・安全に楽しむことができるスポーツ環境の整備について

- ①「市民が、夜間に快適で安全なランニング・ウォーキングを楽しむことができる環境の整備」についてランニング愛好者から要望があった。市は健康寿命の延伸の視点からもランニング・ウォーキングの環境づくりについて、どのようなビジョンを持っているのか
- ②ジャンボ滑り台など老朽化した市民プールの環境整備が必要であると考えているが、市の考えは
- ③子どもから高齢者、障がい者まで誰もが一緒になって取り組めるスポーツの環境づくりが必要と考える。そのためにも、地域の身近な施設である小中学校の屋内運動場などの環境整備に取り組む考えは

3. 少子化に伴う今後の部活動のあり方について

- ①少子化が進み子どもの数が減るなか、地域によっては選択したい部活動の競技・種目が減少してしまうため、子どもたちが希望する部活動を選択できない状況にある。市は部活動に対する子どものニーズと実態を把握しているのか
- ②子どもたちを取り巻くスポーツ環境が変化してきているなか、学校における今後の部活動のあり方について、市はどう考えているか

【中 谷 省 悟 議員】

1. 産業廃棄物処理施設計画が事業者から岐阜県に再提出されたことを受けて

- ① 荘川町六厩で計画されている産業廃棄物処理施設の事業計画が再提出された。以前取り下げとなった事業計画から変更された内容について、市はどの程度把握しているのか
- ② これまでに高山市美しい景観と潤いのあるまちづくり条例に基づき住民や各種団体から寄せられた意見や要望については、市は事業者にどのように届けたのか。また、それに対する事業者の見解と対応は。事業者の対応は住民の意見・要望が反映されたものになっているのか
- ③ 岐阜県産業廃棄物処理施設の設置に係る手続の適正化等に関する条例の手続きにおいては、仕切り直しで事務手続きが再開されることになると思われるが、県における現段階の進捗状況は
- ④ 今後、事業者が行う住民の意見聴取、合意形成はどのように進められるのか。住民の意見を反映させるため市が行える手段は
- ⑤ 市長は住民の意向を受けて、事業者への働きかけはもとより岐阜県、白川村、河川水系の関わりの深い富山県の関係市町村と協働していく考えは